

漁業者と連携した漁場環境の再生活動

〈琵琶湖漁業再生ステップアップ〉プロジェクト

事業費：40,695 千円（別途国直接交付金 80,907 千円）

※本事業は水産庁事業の水産多面的機能発揮対策を活用して実施します。

～事業の背景～

これまでの様々な取り組みにより、ホンモロコ・ニゴロブナをはじめとするいくつかの魚種では少しずつですが漁獲が回復する兆しがみられます。今後、多くの魚種について一層の資源量・漁獲量回復を目指すには、琵琶湖の北湖および南湖（赤野井湾）、内湖、河川で総合的な対策が必要です。本事業では、漁業者が中心となって水草除去、外来魚駆除、ゴミ除去、種苗放流などを行うことによって、魚介類が生息・繁殖しやすい環境を取り戻し、琵琶湖漁業の漁獲量の増大を目指します。

～事業の内容～

（1）多面的機能発揮対策事業

- ・南湖（外来魚駆除、水草根こそぎ除去、耕うん、外来水生植物の駆除、環境保全型魚類（ワタカ・ゲンゴロウブナ）の放流 浮遊堆積ゴミの除去など）
- ・北湖・内湖（水草除去、湖底耕耘、漂着・堆積ゴミの除去、外来魚駆除、耕うん など）
- ・ヨシ帯（堆積ゴミの除去、競合植物の管理・除去 など）
- ・河川（河床耕耘、堆積ゴミ・流木等の除去、密漁監視 など）

（2）ニゴロブナ赤野井湾放流委託事業

- ・赤野井湾周辺水田へニゴロブナ仔魚 400 万尾の放流

（3）真珠母貝生産の実証事業

- ・赤野井湾での真珠母貝生産

～事業の実績～

- ・ニゴロブナ仔魚420万尾の赤野井湾周辺水田への放流（R4）
- ・南湖ではホンモロコの産卵の急激な増加が見られている。
- ・北湖ではホンモロコやニゴロブナ等の資源が回復する兆しがみられる。

